



水害にもコロナにも国が金出せ!

今年の梅雨被害はもの凄いですね。家を流され家財を失い、コロナに怯えながら避難所で過ごす人々の事を考えると胸が痛みます。

コロナ禍での救援

今年の梅雨の水害では、コロナ禍でボランティアは片付けに行かず、被災地は困った。

しかし、水害の片付けはボランティアに頼るべきものだろうか？

国民誰もが受ける自然災害、それに国が準備しておくべきだ。例えば「災害救援省」を作ったらどうだ。常に災害対策の訓練を積み、災害時にはボランティアを指揮すれば良い。

災害救援に携わる人に賃金を出せば、職の無い人も救援に駆けつけられる。怪我や病気も労災とすれば安心だ。コンテナを使った応

急住宅や風呂を沢山常備し、被災地に運べば良い。毎年どこかで災害は起きる。予め備えておくのだ。

財源はある

コロナ禍の最中、ネット通販大手は大儲けしている。投資先が無くて内部留保として貯め込んでいる企業も多い。それらを吐き出して貰えば大きな財源になる。

米軍への思いやり予算、辺野古、F35等止めれば財源はある。Go To 始め政府の施策は朝令暮改。国会を開いて広く各党の意見を集約して必要な法整備をすべきだ。

Go To 等が混乱すればする程、桜森友加計河井が霞む。医療崩壊の危機を聞いて首相は愛犬を抱きニンマリ？

あなたは どう思われますか？

白石運河

神奈川県川崎市川崎区大川橋から

二〇二〇年七月



川崎市の臨海工業地帯、白石町と大川町の間に白石運河があり、大川橋がかかっている。そこから西側を見ると、きらびやかな海賊船風の船が見えた。攔座しているのか、少し傾いている。

名前は「アニバーサリー・クルーズ」。二〇一四年から百人程度の貸し切りクルーズをしている。コロナ禍で今はお休みというところだろう。

向かいには作りかけなのだろうか、港の遊覧船のような船が何隻も停泊している。この辺りには小型の船を造る造船所が幾つもある。遊覧船、曳船、大型船に水先案内人を送るパイロットボートなどを作っているのだろう。

遠くに見える幾つものクレーンはJFEの造船所。旧日本鋼管鶴見造船所だ。

